

## 2020.4.2. 入学式式辞

### 式辞

ここ桑原キャンパスの緑も若葉を見せ、春の和みを感じる頃となり、皆様の門出を自然の息吹が応援しているようです。東雲の始まり、松山女学校は一八八六年の開学より一三四年の歴史を重畳します。この松山東雲女子大学・松山東雲短期大学にご入学・編入学された皆様に教職員を代表して、心よりお祝いを申し上げます。また、この日まで皆様の成長を支えてこられたご家族に敬意を表すとともに、心よりお喜びを申し上げます。本年度の入学式は新型コロナウイルスにより皆様の健康と安全を第一と考えこのような式辞になりました。

さて、皆様にはこれからの学生生活で今日の初心をもち続けて欲しいと思います。とはいえ、在学中に今まで気付かなかった自分自身に出会えるかもしれません。大学は単に座学として知識や技術を身につけるだけの学舎ではありません。在学中はキャンパスから飛び出し、様々な地域社会や世代の異なる人達との活動に参加して欲しいと思います。そこで得られる経験は皆様の世界をより広いものへと導くことでしょう。

これからの大学生活で自分自身を育てるためにみつつの事をお話ししたいと思います。ひとつは無私の奉仕の精神。ふたつ目は良い環境に身を置く。みつつ目は自分自身を大切にしたいという事です。

ひとつ目の無私の奉仕の精神についてお話します。

松山東雲高等女学校時代の第四代ホイテ校長はアメリカ人を敵視する国情の中、一九四〇年に退職されました。その際に経営者であった宣教師社団のアメリカンボードは全ての松山東雲高等女学校の財産を日本人の財団法人に何の見返りも求めず寄付し手を引いたと言われています。この東雲には「無私の奉仕の精神」があります。人々が幸せで笑顔になるような働きかけは必ず自らの心の奥深く、大切な宝物となることを示しているのではないのでしょうか。他人の利益を優先することは自己犠牲ではなく、自分自身の立ち位置の折り合いをつける事だと考えます。環境にあった行動パターンの雛型ができて、別の環境にではまた新しい行動の雛型が必要となります。それぞれの環境に応じた適切な雛型を作る柔軟な対応、社会が自分自身に何を求めているかを体現すること。それが東雲の先達が示してくれた現代社会に生きる我々への貴重な遺産であると思います。

ふたつ目は良い環境に身を置いて欲しいと思います。

私たちの何気ない行動は個人の意図に沿っていると多くの方が思っています。この当た

り前に思われる意図は、最近の脳科学でふたつの機能がある事が分かっています。ひとつは前頭葉を中心とする実行機能を司る顕在的意識、通常ワーキングメモリーネットワーク。もうひとつは潜在的意識または無意識と言われるデフォルトモードネットワークです。ワーキングメモリーネットワークが活発に働いている時、例えば計算問題を解いている時と、デフォルトモードネットワークが優位になり、何も考えずにいる時では脳の血流量はほんの数パーセントの違いしかありません。

カルフォルニア大学サンフランシスコ校の生理学者ベンジャミン・リベットはデフォルトモードネットワークで行動や思考が決定される事を証明しています。人が意識して行動を起こす〇.五秒前に脳は無意識レベルで意識や身体に活動命令を出します。その無意識の決定はどのように行われるのでしょうか。DNAに刻まれた人類の遺伝的遺産や、誕生以後の経験が無意識層に確実に刻まれます。それらは無秩序に善悪の判断や規律も無く、そして優先順位も全く関係なく、ランダムに記憶に蓄積します。その記憶が目前の環境に対し自動的に言動を方向付けます。すると、本能または無意識の指令の赴くままとなります。ただし、ベンジャミン・リベットの実験では無意識の活動命令発動後〇.二秒の猶予があり、自分自身の意志でストップ&ゴーを選択ができるようです。

このデフォルトモードネットワークの行動開始命令を意識がストップをかける必要のない自然体にするにはどうすれば良いでしょうか。我々ができることは、人に優しくできる環境、心温まる環境、リラックスできる環境、つまり、気持ちの良い環境に意図的に身を置くことが必要です。そのような気持ちの良い環境が無意識に蓄積され気持ちの良い環境を再構成しようと無意識が働きます。

みつつ目は、自分自身を大切にしたいという事です。自分自身を大切にすることで人への優しさが生まれます。その逆も真で人への優しさは自分自身を大切にすることにつながります。

日本では言葉には言霊があり、言葉に霊的な力が宿ると言われています。感謝・慈愛・尊厳・思いやりなどの人が喜び、幸せを感じる言葉かけはブーメランです。自分自身を取り巻く環境を自然に幸せなものへと変化させていきます。

他人も自身の考えをもち、その考えに基づき行動する。この事を理解する能力を心の理論と言います。この心の理論が活発に働く脳内部位と先ほどのデフォルトモードネットワーク部位は解剖学的に重なります。相手を思う気持ちで寄り添うことは自分自身の精神世界を豊かにします。生まれた時代や育った地域の異なる人たち、価値観の異なる人たちなど、様々な背景をもつ人たちと笑顔で幸せな時間を過ごして下さい。積極的に異なる意見や考

え方を楽しみ、自分自身の判断基準を自覚し、人との考え方の違いに気づくことは意思疎通のずれが少なく、良い関係を築くことができます。

自分自身を育てるため、無私の奉仕の精神。良い環境に身を置く。自分自身を大切にするこれらは互いに強い関連があります。これから始まる大学生活は貴重な時間です。時間ができたら、お金が溜まったらと考えずに、自分自身の興味と関心を大切にし、失敗を恐れず多くの経験を積み重ねて下さい。自分自身を大切にしながら皆様の様々な場面での活躍を期待し、私からの式辞といたします。

そして、再度、東雲へのご入学おめでとうございます。

二〇二〇年四月二日

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

学長 高橋圭三